

平成 24 年度主要事業取組概要

文化財課

1. 文化財課

①鳥坂寺跡関連

平成 24 年 1 月に国史跡に指定された鳥坂寺跡の保存と活用のための整備等について検討し、教育委員会等に助言、提言等を行うことを目的として、鳥坂寺跡整備検討委員会を設置した。(委員長・大脇潔近畿大学教授、委員 5 名) 5 月に委嘱状を交付し、9 月から翌年 2 月までに会議を 3 回開催した。

②史跡高井田横穴特別公開

例年のとおり、5 月と 10 月に開催。市民歴史クラブと協働して、横穴案内や昔体験講習を行った。

このうち 5 月の特別公開は、市立歴史資料館・史跡高井田横穴公園のオープン 20 周年記念事業として、横穴案内エリアを拡大して実施した。また、10 月の特別公開に合わせて、史跡高井田横穴公園パンフレットの改訂版を発行した。

③文化財保護関係

史跡鳥坂寺跡出土「鳥坂寺」銘墨書土器(24.9.1)と旧大阪鉄道亀瀬隧道(25.2.2)の 2 件を新たに市文化財として指定したほか、文化財説明板の建て替えと新設を行った。開発に伴う発掘調査や建造物詳細調査等については、引き続き実施している。

文化財説明板については、老朽化が激しかった安堂太平寺共同墓地の「伝木沢長政の墓」の説明板を建て替え、本堂に「古代の本堂―河内国大県郡巨麻郡と大狛神社」についての説明板を新しく設置した。(24.12.13)

建造物詳細調査事業については、柏原市玉手町の安田邸を対象とし、現地踏査や写真撮影及び聞き取り調査を行った。(24.11 月～25.3 月)

④刊行物

平成 22・23 年度に実施した発掘調査の概略をまとめた『柏原市遺跡群発掘調査概報』を刊行した。(25.3 月)

⑤市民訪韓団(百済歴史の旅)への職員同日程で派遣

市民訪韓団(10 月 23～26 日)に市立歴史資料館長を同日程で派遣。昨年の公州市訪問(23.10 月 4～8 日)に引き続き、日韓の古代文化交流を視察した。

2. 歴史資料館

①企画展

今年度も例年のとおり、企画展を 4 回開催した。

夏季企画展「鳥坂寺再興」(24.7.14～9.9)、秋季企画展「水を治める」(24.9.25～12.9)、冬季企画展「ちょっと昔の道具たち～昔話の風景～」(25.1.6～3.3)、春季企画展「河内大橋」(25.3.23～6.23、開催中)

秋季企画展「水を治める」への府内小学校からの来館は、計 107 校・9,103 人にのぼり、学校数・来館者数とも過去最多となり、3 年連続で新記録を更新した。(H22 年度=97 校・8,517 人 H23 年度=100 校・8,883 人)

冬季企画展「ちょっと昔の道具たち～昔話の風景～」には、期間中に柏原市立の全ての小学校(10 校)と、藤井寺市の小学校 1 校が展示見学と体験学習のために来館した。また、冬季企画展に関連して、市民団体(民話の会、イエローラインプロジェクト)と共催で、展示内容に関連する劇の上演と綿繰り体験を実施した。(25.2.17)

②普及啓発活動

夏季企画展に伴い 2 回、各 2 名の講師を招いて文化財講演会を開催。「古代寺院と仏教」をテーマに、市民歴史大学(特別講演会)を 4 回開催。「しめなわ作り」「わらざうり作り」の体験教室の開催。市民を対象とした文化財講座及び古文書入門講座の開催。そのほかに、夏季企画展開催初日の公開講座、冬季企画展に伴う劇の上演と綿繰り体験の実施、さらに出前講座や諸団体への講演・講義などを行った。

また、大阪府立中央図書館と共催で、中央図書館 1 階展示ホールにて「鳥坂寺再興」の出張展示及び講演会を開催した。

③刊行物

企画展図録「鳥坂寺再興」、「河内大橋」や「館報 第 24 号」、「歴史資料館だより ゴンドラ No.9」などを刊行した。また、平成 7 年に発行(同 9 年に再版発行)した冊子「高井田横穴群」の改定新版を発行した(24.11.7 付)

④その他

常設展示の一部展示替えを実施。民具の展示コーナーを企画展示室へ移動し、新たに特集展示のコーナーも設けた。当面は、市民歴史クラブの製作した智識寺の伽藍模型を中心に展示していく。

学芸員資格の取得を目指す大学生のための博物館実習を、今年度も 8 月に実施し、大阪教育大学や近畿大学などの学生計 8 名を受け入れた。(8.23～8.31) また、中学生の職業体験に引き続き協力し、今年度は玉手中学校の生徒 3 人を受け入れた。(11 月)

そのほかに、2 か月ごとのスポット展示、FMラジオでの紹介等についても引き続き実施している。

3. 市立歴史資料館・史跡高井田横穴公園オープン 20 周年事業

史跡高井田横穴公園は平成 4 年 5 月 2 日に、市立歴史資料館は同年 11 月 7 日にそれぞれオープンしており、平成 24 年にともに 20 周年を迎えた。これを契機として、郷土の歴史や文化財への一般の関心と愛着を一層高めるため、各種記念事業を実施した。

なお、これらの記念事業の実施にあたっては、特別の予算は計上せず全て通常の予算の範囲で執行した。

①史跡高井田横穴特別公開を拡大版で実施（5月19日）

文化財課職員らによる横穴案内について、公園西側エリアを案内範囲に追加、同時に高井田文化教室「柏陽庵」の庭園も案内対象とした。また、受付横では横穴の写真パネルなどを展示した。

②ミュージアムグッズの作成（7月）

ミュージアムグッズ（来館記念ともなる実用品）として、史跡高井田横穴をモチーフにデザインしたクリアファイルを作成。夏季企画展オープニングイベントの参加者に無料で配布するとともに、1部100円で希望者に販売開始。

③夏季企画展を「20周年記念」の冠事業として開催（7月14日～9月9日）

夏季企画展「鳥坂寺再興」を、「歴史資料館開館20周年記念」の冠を付けて開催。

④夏季企画展オープニングイベントを開催（7月14日）

夏季企画展開催初日に、一般市民を対象としたオープニングイベント（公開講座など）を開催した。

⑤市立歴史資料館だより「ゴンドラ」No.9（20周年記念号）の発行（9月1日付）

年1回発行のミニ情報誌を、20周年記念号に位置付けて発行した。

⑥史跡高井田横穴公園案内パンフレットの改訂版発行（10月）

同横穴の秋の特別公開当日（10月20日）から一般への配布を開始した。

⑦一般向け解説冊子「高井田横穴群」の改訂新版発行（11月7日付）

平成7年に発行、同9年に再版発行した同名冊子の改訂新版を、歴史資料館の開館日である11月7日付で発行した。

⑧来館者プレゼントの実施（11月7日～18日）

期間中、一般来館者に「柏原市文化財ガイドシリーズ」5冊セットを無料でプレゼントした。当初は14日までの予定だったが、関西文化の日（11月17日、18日）に関連して18日まで延長した。

4. ニュース提供（文化財課・歴史資料館 共通）

市民ニーズに応えるとともに市民協働を実現するため、文化財課・歴史資料館のホームページを一新した。同時に、報道機関等へのニュース提供による情報公開も積極的に行っている。提供したニュースの本数、これらが新聞等に掲載等された延べ件数は次のとおりである。

平成23年度＝提供69本、掲載延べ100件

平成24年度＝提供56本、掲載延べ63件（H25.2月末現在）

また、テレビによる取材、放送は次のとおりである。

「鳥坂寺鴟尾再現」＝J:COM 東大阪（4.9取材、4.15～22放送）

「高井田山古墳 他」＝韓国 TJB テレビ（5.4 取材、5 月に韓国で放送）

「高井田横穴」＝韓国 TJB テレビ（6.22 取材、8 月に韓国で放送）

「夏季企画展 鳥坂寺再興」＝J:COM 東大阪（4.9 取材、4.15～22 放送）

「体験教室 しめなわづくり」＝J:COM 東大阪（12.2 取材、12.10～16 放送）

「冬季企画展 昔話の風景」＝J:COM 東大阪（1.19 取材、1.28～2.3 放送）

「体験教室 わらぞうりづくり」＝J:COM 東大阪（2.3 取材、2.11～17 放送）

そのほかに、FM ちゃお（コミュニティ FM ラジオ）、産経新聞・MSN 産経、日経新聞・日経ウェブ版などからも取材を受け、放送及び記事掲載されている。